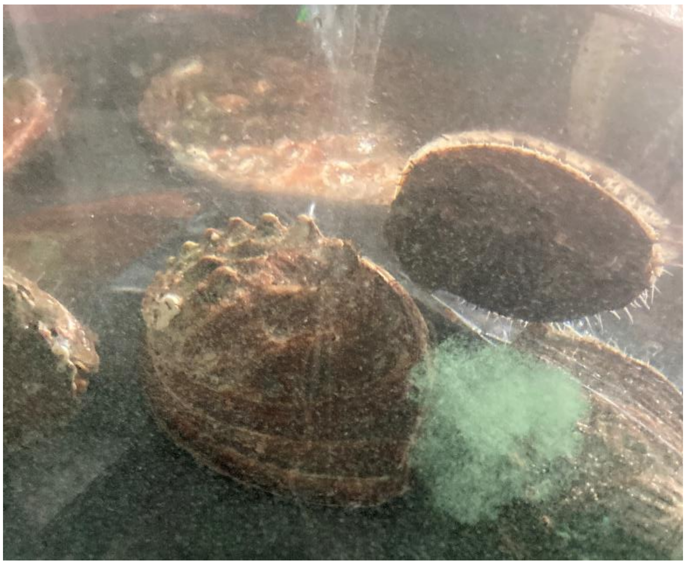
11 月末、アワビ種苗生産が始まりました

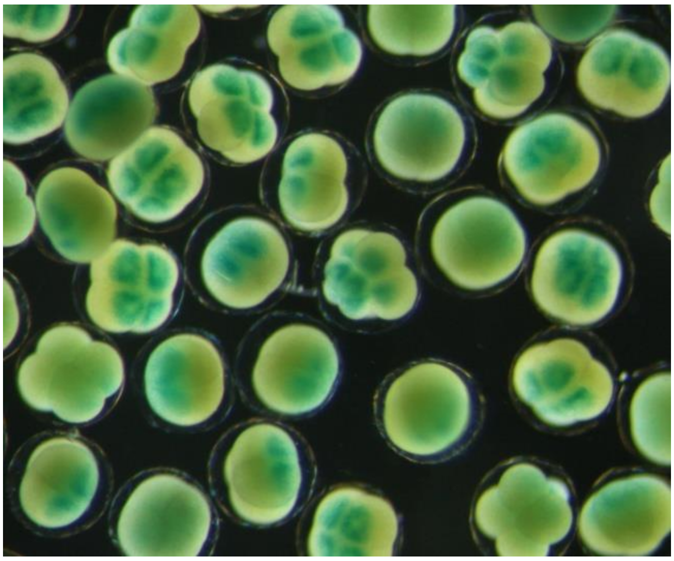
11 月になると長井海洋実習場の飼育室は慌ただしくなります。マダカアワビの種苗生産の開始が近づいてくるからです。この頃から水温や親貝の生殖腺の状況などを見ながら、卵を採る時期を見定めます。そして 11 月 25 日と 30 日に採卵を行い種苗生産がスタートしました。

「採卵」の方法は、まず状態の良いアワビを収容した水槽に紫外線を含んだ海水を流し込み、放精・放卵を促します。2～3 時間ほど待てば放精・放卵が確認でき次第受精させます。得られた受精卵を幼生育成水槽へ移し「採卵」は終了です。幼生は、順調にいけば翌朝には孵化します。採卵のタイミングや受精方法などを 1 つでも間違えると、卵を産まなかったり、うまく育たなかったりということが起こります。日頃の観察と技術が求められる作業を生徒たちは学んでいます。

白く膨れ上がっているところが雄の生殖腺

濃い緑に膨れ上がっているところが雌の生殖腺


放卵している様子。
呼水孔から緑色の卵を大量に放出します。


2 分割や 4 分割に卵割（細胞分裂）している受精卵。正常に発生がすすんでいるようです。